

## ひとレポート

実施日：11月22日 科目名：おもしろ「子ども科学手作りおもちゃ体験」科  
講座テーマ：＜解剖学入門＞「煮干しの解剖教室」  
講師：高松真津子

- ◆01 魚の解剖というとても楽しい授業でした。魚にも生きるための臓器がそろっているのに驚きました。
- ◆02 カタクチイワシとの格闘、楽しい時間貴重な体験をしました。
- ◆03 解剖2回目、今回は部位もよくわかり見つけるのも楽しくできました。やはり50匹解剖したらもっと達人になれると確信しました。おもしろい！
- ◆04 「煮干し」に集中しました。精巣と卵巣が分からず苦労しました。
- ◆05 イワシの解剖はたのしかったが、パーツが小さく、硬かったので難しかった。
- ◆06 小さいイワシにも人間と同じ臓器のほとんどがある。命の大切さを再認識する授業であった。
- ◆07 煮干しの解剖、初めて人間と同じように臓器ある？
- ◆08 いわしの解剖をしてみて、魚も人間とよく似ていて、とても面白かった。
- ◆09 カタクチイワシという小さな魚で臓器を見分け、取り出せたということに感動した。
- ◆10 いわしも人間と同じ生物としてあらゆる臓器、働きのすごさに改めて世の中の生き物の大切さを感じました。生き物スゴイ。
- ◆11 とても興味あり、久々に解剖して楽しかったです。少々目が疲れました。
- ◆12 もっともにがてな解剖にとりくんでみて少し克服されていたかなと思います。大きく「脊椎動物」というグループに分類されるんですね。
- ◆13 ニボシイッピキデナガイコトアソベマンナア。
- ◆14 いわしの解剖をしましたが、身体のパーツを見つけれませんでした。自宅でします。
- ◆15 日頃、注意を払うことのなかった煮干しの解剖はたいへん興味深いものであった。
- ◆16 むつかしかったです。わかりやすい部位と分かりにくい部位がありましたが、面白かったです。
- ◆17 片口いわしの解剖、魚のからだの作り、よく解りました。普段は食べるばかりでしたが、楽しい授業でした。
- ◆18 人間と同じ、内臓も何もかも同じ脊椎動物なんて！ お出汁にいつも使わせてもらった煮干しさん！ ありがとう。
- ◆19 めったに見られない脳、心臓、胃・・・発見しました。人間と共通部分が多いのにびっくりです！
- ◆20 目は疲れましたが、珍しい経験ができました。
- ◆21 2度目の挑戦・・・でも悪戦苦闘、でもでもおもしろかった！
- ◆22 解剖は子供の時以来だったので楽しかったです。
- ◆23 鰯の解剖大変めずらしい経験が出来楽しかった。
- ◆24 魚にも人間と同じものがあるので大切にしようと思った。

- ◆25 焼き魚を食べる時、酒のおともに内臓観察をしながらいただくのもいいかな！
- ◆26 いわしの解剖でいろいろな部分を見ておもしろかった。肝臓 胃 卵巣よくわかった。心臓と脳がよくわからなかった。
- ◆27 いつも食べているのによくわからないところが・・・
- ◆28 カタクチイワシの解剖楽しかった。
- ◆29 かたくちいわし こんな小さい魚に人間と同じ臓器があるのに驚きました。楽しい授業でした。
- ◆30 老眼にはづらい授業でした。内臓は皆同じに見え区別しにくい。でも見つけたときは嬉しい -----!! 人間と同じ物があるんだ。お口の中に入って楽しかった。
- ◆31 カタクチイワシ普段料理に使うものとしか認識していなかったが改めて解剖すると立派な内臓を持っていて楽しかった。
- ◆32 煮干しの解剖は面白かったが乾燥しているので臓器の区別が大変難しかった。味も楽しむことが出来た。
- ◆33 カタクチイワシの解剖がとても面白かったです。脳や胃を見つけたときは感激しました。

#### CDのひとロレポート

和食がユネスコの無形文化遺産になり、世界中の人々から、和食の基本である「だし」に注目されるようになりました。カツオ、昆布、煮干し・・・これらのものからあのうまい「だし」が生まれてくるのです。特にカタクチイワシは、上流に向かって必死に泳ぎます。あの大海原を泳いでいるのです。あんなにも小さいのに、生きていくために、全身のあらゆる部分を使っている！！すごいですね。生き物たちの生きて子孫を残していこうとする力強さを感じます。

記：高松真津子